

民生分野における利用推進

公共分野における高度化・効率化

① 社会インフラ維持・整備の効率化

→準天頂衛星等の宇宙インフラによる高精度位置情報等を活用した取組の実施。

・建機制御による効率的施工（**情報化施工**）の取組

→高精度位置情報等の活用の研究開発。

・構造物の**変位モニタリング**による社会インフラの維持管理の効率化



② 防災・減災

→準天頂衛星等による高精度位置情報を活用した、リアルタイム防災・災害対策を実現するシステムの実用化。

・**異常検知システム**

・メッセージ通信機能を活用した**安否情報確認システム**

・**災害情報配信システム**

→宇宙インフラと地理空間情報を組合せた技術による効果的な災害対策の実現。

・国、地方公共団体、関係機関、民間での**リモートセンシング衛星データ等の宇宙システムデータ活用体制の強化**



関連する新産業の創出

① 交通・物流

→準天頂衛星システム関連インフラの整備により、民間事業者等を後押しする環境を整備。

・戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)「自動走行システム」等と連携し、高精度位置情報を活用した**信頼性の高い車両走行位置制御技術**の実現

・高精度位置情報を活用した、**物流・配送管理技術**や、**無人機での貨物輸送技術**等の実現



② 農林水産

→準天頂衛星やリモートセンシング技術を活用し、農業・林業の省力化・生産性向上を目指す。

・SIP(次世代農林水産業創造技術)の**農機自動走行研究**等と連携し、高精度位置情報を活用した**無人農業機械**や、リモートセンシング等による**高度生産管理技術**の導入

・**衛星・航空機画像**や**森林クラウド**等の**ICT技術**を活用した林業の生産性向上



③ 個人サービス・観光

→高精度位置情報を活用した**高齢者・子ども等の見守りサービス**の実現や、諸外国で人気の高い**アニメ等のコンテンツ**と**高精度位置情報との連携**を活用した**世界に先駆けた観光サービス**の展開。

民生分野における利用推進

公共・産業両分野における海外展開

① 地球規模での課題解決の貢献



→測位インフラや準天頂衛星を活用したサービス等により、アジア域等の新興国の社会課題や地球規模課題の解決に貢献。

- ・電子基準点網などの測位インフラの整備
- ・準天頂衛星活用サービスの海外展開
- ・宇宙システム海外タスクフォース（仮称）
- ・日本発の社会課題解決・ソリューションの海外展開（**防災・減災、高齢者支援**）

② 対象国との連携強化

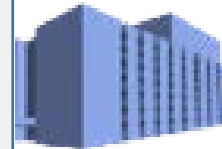
→具体的な案件発掘、プロジェクトの組成に向けた基盤作り。

- ・国際協力機構(JICA)、国際協力銀行(JBIC)等の政府関係機関との連携
- ・アジア開発銀行(ADB)、東アジア・アセアン経済研究センター(ERIA)等の国際機関との連携
- ・全地球観測システム(GEOSS)等の国際的な枠組みを活用した案件の基盤づくり
- ・宇宙インフラ技術、地理空間情報やデータ統合解析システム等の高度な技術を活用したサービスの構想・構築・運用が可能な**人材の育成と人脈の構築**



宇宙インフラへのニーズ反映に向けた取組

→宇宙基本法に記載された宇宙インフラの整備・運用に当たっては、以下の取組等を進め、そこから得られた知見を踏まえるものとする。



- ・屋内外シームレス測位の実現
- ・航空用衛星航法システム（**SBAS**）による測位補強サービスの実現
- ・リモートセンシング衛星データを活用・促進するためのアプリケーション整備
- ・宇宙インフラ等により得られた地球観測情報と、ビッグデータ解析やIoT等との融合による**日本発の革新的ビジネスモデル**の創出
- ・企業、大学、金融等の多様な人材が集う場づくり（**スペース・ニューエコミー創造ネットワーク**）

政府における推進体制の構築

→宇宙利用戦略を具体化すべく、内閣府宇宙開発戦略推進事務局は、宇宙施策における重要関連分野であるIT、地理空間情報等の司令塔組織、関係府省庁との密接な連携を図る。

・内閣官房

地理空間情報活用推進会議事務局、情報通信技術(IT)総合戦略室、内閣サイバーセキュリティセンター、国土強靱化推進室

・内閣府

科学技術・イノベーション担当、防災担当

・地方創生、規制制度改革、特区等の関連施策